社会医療法人北楡会 札幌北楡病院 広報誌

エルム

vol.55

発行日：平成26年３月14日

平成26年３月14日発行　編集・発行／社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院 広報委員会　責任者／玉置　透

HOKUYU INFORMATION

新年のご挨拶と肛門外科の新設について

皆様、新年明けましておめでとうございます。それぞれご家族とともに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年は午年ですので、天を翔るペガサスのように大きく飛躍できる年になればと願っております。

しかしながら、東日本大震災の発災からほぼ3年が経過した現在、東北地方は未だに地域の復興もままならず、仮設住宅での生活を強いられている方も4.5万人を超えているなど、厳しい現実に心を痛めております。さらにTTP交渉の行方も気掛りですし、4月からの消費税増税の影響も心配であります。アベノミクスの効果もこの北海道ではまだ感じられない昨今において、増税による景気の低迷や経済成長の減速による経済の悪化が懸念されます。当院でも厳しい社会環境の変化に対応するべく、引き続き積極的に院内体制の改革を進めたいと考えております。

その一環として、昨年6月にお隣の白石肛門科胃腸科病院と合併しましたが、同院を昨年12月で閉院し、年明けから建物の解体工事を開始しました。跡地に新病棟を建設し、当院と渡り廊下で結ぶ計画です。これに伴い、昭和63年に設立された白石肛門科胃腸科病院でこの地域の肛門疾患々者さんのために活躍して来られた先生に、引き続き当院で診療をして頂くことにより、地域社会に貢献したいと考えました。具体的には1月6日から肛門外科として、当院待合室の一角を区切り、診療を開始しております。

内痔核、外痔核、裂肛、脱肛、痔瘻、肛門周囲膿瘍、直腸脱、直腸ポリープ等の直腸・肛門疾患、さらにはこれらの診療中に発見される事の多い、下部消化管の炎症性・腫瘍性病変の治療も、消化器内科や消化器外科と連携しながら実施して行きたいと思います。

この4月には2年毎に行われる診療報酬の改定が実施されますが、医科全体で＋0.1％のアップと決定しました。しかし、消費税の増税分を差し引きますと、実質的には1.26％のマイナス改定になりました。どこの病院も経済的に苦しい状況になりますが、医療の質を下げる訳にいきませんので、色々工夫をしながらより良い医療の実現に努力をして行こうと思います。皆様の一層のご支援とご評価・ご批判を頂ければ幸いに存じます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

平成26年2月　院長　目黒　順一

◆病院紹介シリーズ
肛門外科が新設されました
◆薬剤部長のご紹介
◆冬の感染症にご注意ください!!
◆エルムの会のご案内
◆ボランティアイベントレポート
・吹奏楽ポップスコンサート

札幌北楡病院　基本方針

1. 患者さんに公正な医療を提供します。
2. 患者さんの権利を尊重し、分かりやすい医療を行います。
3. 患者さんの安全を保障し、快適で安心して治療に専念できる場を提供します。
4. 高度医療を積極的に推し進めます。

特集

病院紹介シリーズ

肛門外科が新設されました

今年1月から開設した北楡病院肛門外科の紹介をします。ご存じのとおり昨年６月に白石肛門科胃腸科病院は北楡病院と合併して北楡会白石肛門科胃腸科病院となり、昨年末に閉院したことに伴い、この度の北楡病院内の肛門外科新設となったわけです。旧白石肛門科胃腸科病院の院長の宮下先生と副院長の山内先生が継続して当院で診療にあたってくれています。小児思春期外来とアロワナの水槽の間に忽然と現れた肛門外科外来診察室で宮下、山内、小野寺で交代に外来をやり、手術は主に山内、小野寺で担当しております。両ベテラン先生のところには旧知の患者さんたちが引き続き通院され混み合っています。

肛門疾患はポピュラーなので説明するまでもないかもしれませんが、いぼ痔（内痔核、外痔核）、切れ痔（裂肛）、穴痔（痔瘻）が三大疾患でしょう。このほか、肛門周囲膿瘍、肛門ポリープ、肛門狭窄、直腸粘膜脱、直腸脱、毛巣洞、肛門周囲湿疹、尖圭コンジローマなどがありますが、相互に関係のある、あるいは延長線にあったりして区別の難しい場合もあります。病気の範疇に入らない皮垂を気にして来院される方もいますが、多くは肛門痛、肛門出血、掻痒感、違和感が主訴です。救急を訪れるのは内痔核嵌頓、進行した肛門周囲膿瘍、重度の便秘、痛みの強い血栓性外痔核、痔核大量出血などがあります。また血便や下血の原因を痔によると考えて肛門科を受診され、精査にまわって大腸癌が見つかるケースも少なくありません。当院の外科で直腸癌手術となった患者の多くはかつての白石肛門科胃腸科病院からの紹介でした。

痔の既往は日本人の３人に２人と言われるほど多いのですが羞恥心から受診が遅れがちになります。現在では手術の必要な痔の患者さんは１～２割程度です。早く治療すれば簡単な処置と生活習慣の改善と坐薬や内服薬などでコントロールできます。早期受診こそが痔を早く確実に治す近道です。手遅れの状態からの手術では完全には良くなりません。

また最近は内痔核にジオン注射をすることで、流れ込む血液の量を減らし、いぼを硬くして粘膜に固定させるというALTA療法というのが盛んです。その有効成分は硫酸アルミニウムカリウムとタンニン酸というものです。いぼを手術で切り取ってしまうと、排便時にはどうしても傷口が痛みますし肛門狭窄の危険がありますが、注射療法は切らないため痛みが少ないし狭窄をきたさないというのが大きなメリットです。従来、痔の手術というと最低１週間は入院しなければなりませんでしたが、注射療法ですと入院日数も大幅に短縮され、日常生活への復帰もスムーズなので、長期間休みを取れない方には朗報です。入院せずに外来で注射を打つことも可能な患者さんもいます。通院で何とかしたいのか、それともこの機会に入院してじっくり治療したいのか、選ぶのはあくまで患者さんなので、希望に合わせて治療法を組み合わせることも可能です。ただし、入院なしでできるのは麻酔を使わずに注射を受ける患者さんのみです。

また患者の半数以上は女性であり、妊娠や出産、便秘など女性は痔になりやすい事情を多く抱

えています。「おしりを診られるのは恥ずかしい」という人も多いのですが、診察台で下着を全部脱ぐ必要はありません。診察は横向きのシムス体位なので、医者と顔を合わせることもありませんし、下半身にタオルをかけたり、カーテンをするなどプライバシーにも配慮しています。

保存的に痔をコントロールしている方も、術後フォローアップされている方も、先に述べた生活習慣の改善指導と便通の調節のために通院と投薬を続けられています。その指導の骨子は、

●便通を整えるために食物繊維や水分を摂る。
●便意があったらトイレに行く（我慢しない）。
●トイレに長居しない。いきむのは3分以内。無理に出し切ろうとしない。
●下痢を防ぐためにアルコール類、香辛料などは控える。
●腸の働きをよくするために適度な運動をする。
●便秘の原因になる無理なダイエットはしない。
●おしりの清潔を保つため、坐浴を行う。あるいは温水洗浄式便座を使う。その際水圧は弱めに、温度は適温、刺激しすぎない。乾燥機能がない場合は清潔なタオルなどで軽くおさえるようにします。
●入浴して血行をよくする。
●長時間、同じ姿勢をとり続けない。
●過労やストレスを避ける。
●体を冷やさない。

などであり、養生訓みたいなものです。一般的にも参考になると思いますので羅列してみました。

最後に、従来の大学教育がおろそかにした肛門疾患に卒後多くの非専門医師が診療に携わらざるをえない現状を鑑み、今回豊富な経験を持つ2人のベテラン医師を招いて当院に肛門外科が開設されたことが患者さんにとっても当院の発展のためにも今後生かされていくことを願って止みません。

肛門外科部長　小野寺　一彦

	午　前	午　後
月	小野寺	小野寺
火	宮　下	山　内
水	宮　下	山　内
木	小野寺	小野寺
金	宮　下	山　内
土	交代医師	

肛門外科 外来診察担当一覧

薬剤部長のご紹介

薬剤部長
齊藤 嘉津彦

“生き残る薬剤部”へ

昨年の10月、薬剤部長として北海道薬科大学から赴任して参りました。どうぞよろしくお願いいたします。はじめに、簡単な自己紹介をさせていただきます。私は札幌医大病院で薬剤師として26年ほど実地臨床の業務に携わり、同時に臨床研究にも従事し、博士（薬学）の学位を運よく取得することができました。その後の7年間は北海道薬科大学に移動し、学生の教育に関わりながら（主な担当講義科目は薬物治療学、化学療法学、悪性腫瘍学、ゲノム薬理学）、同時に、北海道がんセンターで臨床教員として実習教育と研究を行ってきました。その間、恩師の計らいでオークランド大学医学健康科学学部分子医学病理部門へ留学する機会に恵まれ、今に至っています。主な研究分野は薬物動態学、薬理遺伝学・ゲノム薬理学で、薬物治療モニタリング（TDM）や薬物感受性関連遺伝子の多型解析などによる「薬物治療の個別化」をテーマとした留学先を含めた施設との共同研究を現在も継続しているところであります。

さて、がん専門薬剤師認定制度や抗菌化学療法認定薬剤師制度などが薬剤師の間において近年発足し、これらを含む種々の認定制度は薬剤師自身の研鑽やスキルアップに寄与するだけでなく、高度化する医療の中で良質かつ安全な薬物療法を患者さんに提供することにつながるものだろうと考えられます。このことから、当院の薬剤師には自分の得意な分野や興味のある分野の認定薬剤師取得を希望していますが、そのような環境づくりや認定取得のサポートに対し、今までの自分の経験を活かすことができればと思っています。これは、より良い薬物治療の提供に薬剤師が将来寄与できることとなるはずだと信じています。いずれにしましても、ベッドサイドでチーム医療に貢献する薬剤師（薬剤部）となれるよう今後努力して参ります。昨年末、理事長が同様なことをお話になられましたが“最も変化に適応したものが生き残る”と同じく、医療を巻く情勢の変化に的確に対応し“生き残る薬剤部”に進化できるよう尽力致しますので、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

冬の感染症にご注意ください!!

～インフルエンザとノロウイルス～

インフルエンザについて

通常、日本では、毎年11月下旬から12月上旬にインフルエンザのシーズンが始まり、翌年1～3月にピークを迎え、4～5月にかけて患者数は減少します。

毎年、人口の5～10%（約600～1,300万人）がインフルエンザにかかると想定されています。あらためて、ご家庭や職場などでのインフルエンザ対策の徹底をお願いします。

インフルエンザ予防対策の要点

➡予防接種を受ける

インフルエンザに対するワクチンは、個人差がありますが、接種後、効果が現れるまでに通常約2週間程度かかり、約5ヶ月間その効果が持続するとされています。

➡感染経路を断つ（飛沫感染・接触感染を防ぐ）

インフルエンザは発病する前日から、発病後3～7日間程度は、他の人にうつる力があると言われています。手洗いやマスクをすること、そして「咳エチケット」が重要です。

厚生労働省　インフルエンザ予防の啓発ポスター

ノロウイルスについて

ノロウイルスによる食中毒や感染性胃腸炎は冬場に本格的な流行を迎えます。ノロウイルスに感染すると下痢、おう吐、吐き気、腹痛などを引き起こします。子どもや高齢者は重篤化しやすいので、特に注意しましょう。

ノロウイルス予防対策の要点

➡十分な手洗い

特に食事前、トイレの後、調理前後は、石けんでよく洗い、流水で十分に流しましょう。

➡食品を十分に加熱する

85℃ 1分以上の加熱が必要です。食材の中心部までしっかり火を通しましょう。

➡調理器具や調理台を清潔に保つ

まな板、包丁、食器、ふきんなどは使用後すぐに洗いましょう。熱湯（85℃以上）で1分以上の加熱消毒が有効です。

➡便の扱い、おう吐物を適切に処理する

おう吐物処理における環境消毒は、0.1%次亜塩素酸ナトリウム液を使います。

おう吐物処理における環境消毒

濃度	商品名（例）
約5%	ジアノック、ハイター、ブリーチ

（例）ペットボトルを使った
「0.1%次亜塩素酸ナトリウム液」の作り方

➡水500mlにキャップ2杯（キャップ1杯 約5ml）

インフルエンザやノロウイルスにかかったらどうすればよいのですか？

◆インフルエンザの場合…

具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。安静にして、水分と栄養の補給を十分に行いましょう。一般的に、インフルエンザ発症前日から発症後3～7日間はウイルスを排出するといわれています。排出期間の長さには個人差がありますが、咳やくしゃみ等の症状が続いている場合には、マスクを着用する等、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。また、小児、未成年者では、インフルエンザにかかることにより、急に走り出す、部屋から飛び出そうとする、ウロウロと歩き回る等の異常行動を起こすおそれがあるので、自宅において療養を行う場合、少なくとも2日間、小児・未成年者が一人にならないよう配慮しましょう。

◆ノロウイルスの場合…

現在、ノロウイルスに効果のある抗ウイルス剤はないため、通常、対症療法が行われます。特に、体力の弱い乳幼児、高齢者は、脱水症状を起こしたり、体力を消耗したりしないように、水分と栄養の補給を十分に行いましょう。また、このウイルスは下痢等の症状がなくなっても、通常では1週間程度長いときには1ヶ月程度ウイルスの排泄が続くことがあります。症状が改善した後も、特にトイレの後や調理前後は、手を石けんでよく洗い、流水で十分に流しましょう。

第30回札幌北楡病院 血液内科患者会

エルムの会

平成26年3月25日(火)午後2時～ 4時

場所：札幌北楡病院　西棟5階講堂・左側(7病棟の奥)

当院の血液内科外来通院中の方や入院治療中の方、移植を経験された方、ご家族の方など、みなさんで体験談や悩みごとなどを気軽にお話ししてみませんか？はじめての方もお気軽にお越しください♪お茶菓子代として１００円の寄付をお願いしています。

☆予約は不要で、出入りも自由です☆

エルムの会とは...

当院では、平成21年5月より、血液内科患者会・エルムの会が活動しています。
対象になる方は、札幌北楡病院の血液内科の患者さんやご家族の方です。入院中でも外来通院中でもかまいません。移植を経験された方やドナーとなられた方でも参加は可能です。
2カ月に1回くらいのペースで、午後2時～4時に茶話会が開催されており、これまでの治療の体験談や悩みごとなどを気軽に話をする場としています。

次回は 6月3日(火) です。

問合せ先：医療連携室　山﨑・吉田(011-865-0111)

外来診察担当一覧

午前　午後

（平成26年3月1日現在）
※都合により代診・休診となる場合がございますので事前に確認ございます。

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科 血液内科	小笠原 今井 太田 皆内 今野	小林(直) 今村 木山 小原	今村 木山 平野 今井 安本	中田 嶋 荒 ※1今井	小林(直) 小笠原 皆内 安本	今村 今井 中田	小林(直) 太田 嶋 山川	平野 中田 山川	木山 平野 今井 荒	今村 皆内 小原	交代医師
消化器内科	工藤 松島	川村 葭内	葭内 松島	工藤 藤野	工藤 葭内	川村 片桐 須田 (完全予約制)	高野 ※7福島	片桐 ※4工藤	川村 片桐	高野 藤野	
糖尿病代謝内科					澤村		澤村		澤村		
腎臓内科	伊藤					伊藤	伊藤		伊藤		
循環器内科							儀間		伊達／山崎(交代制)		
							※5(隔週で午前／午後 どちらかの診察になります)				
外科	玉置 三野	目黒	米川/土橋 古井/飯田 (隔週交代)	久木田	目黒 服部	堀江 ※6フットケア外来	堀江 土橋	小野寺	久木田 後藤	玉置	交代医師
肛門外科	小野寺		宮下	山内	宮下	山内	小野寺		宮下	山内	交代医師
腎臓移植外科 泌尿器科	三浦(9：30～) (※2)				東山		三浦(9：30～) (※2)		東山		
整形外科	東 髙橋		東		髙橋		東		髙橋		
小児 思春期科	安田 小林(邦)		小林(良) 小林(邦)	佐野/岸本 (隔週交代) 小林(邦) (アレルギー外来)	安田 小林(邦)	小林(邦) 鈴木	※3小林(良) (血液外来)		安田	安田 ※3小林 (良)	交代医師
スリープ外来			中尾				中尾				
ペインクリニック (完全予約制)					沼澤						
禁煙外来 (完全予約制)		三浦						伊藤			
歯科 (完全予約制)	加藤		加藤／大畑		加藤		加藤		加藤		加藤
免疫細胞療法 (完全予約制)		小笠原		小笠原		小笠原 太田		小笠原		小笠原	

◎免疫細胞療法専用予約電話：**0120-75-5706**
免疫細胞療法は保険外診療のため、保険診療との併用はできません。ご希望される方は、事務員にお声掛けをお願いいたします。

※1　内科：火曜日午後の今井医師は15：00～16：00セカンドオピニオン外来完全予約制です。
※2　腎臓移植外科、泌尿器科は原則として予約診療になります。
※3　小児思春期科：木曜日は血液外来・金曜日の午後は長期フォローアップ外来、セカンドオピニオン外来のため完全予約制です。
※4　消化器内科：木曜日午後の工藤医師は15：00～16：00　ピロリ菌専用外来（予約制）です。
※5　循環器内科は診療時間が午前と午後隔週で入れ替わります。来院前にお問い合わせください。
※6　外科：水曜日午後堀江医師は13：30～16：00フットケア外来完全予約制です。
※7　消化器内科：木曜日午前の福島医師の診察は11時までとなります。また隔週で休診となります。
◇　医師の都合により変更となる場合がございますので予めご了承ください。

外来予約　電話受付

【平日のみ】午前9時00分～12時00分　／　午後13時30分～16時00分

予約専用電話　TEL 011-865-0201

注：歯科の予約は011-856-0111（病院代表電話です）

- 予約の際に受診科、氏名、生年月日をお知らせください。
- 日曜日、祝日は診療をしていません。
- 土曜日は予約診療を行っていません。
- 予約がなくても診察を受けることができます。
- 診療の際に、前後の患者さんの状態で、多少時刻が変わることがあります。

Volunteer Event Report

ボランティアイベントレポート

2月13日(木) 吹奏楽ポップスコンサート

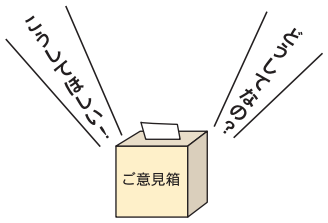
2/13(木)西棟5階講堂にて「吹奏楽ポップスコンサート」が開催されました。演奏していただいたのは昨年4月より当院の医事課事務員として勤務している加藤　昂太さんとその楽団仲間の皆さんでした。今回、トロンボーン4重奏・クラリネット4重奏・金管8重奏と盛り沢山の内容でした。楽器の説明に加え、曲目も誰もが一度は耳にしたことがある曲がほとんどで、年齢を問わず会場を大いに盛り上げてくれました。

また、講堂での演奏のあとは小児科病棟へ。間近に見る楽器の美しさと、聞こえてくる音の迫力にこどもたちも大喜びでした。今後も定期的にこのようなイベントを開催していきたいと思っています。

当院に対して、ご意見お寄せ下さい。

必ず院長や部署責任者が目を通しています。検討して改善させていただきます。

【ご意見箱設置場所】
東棟：外来外待合室、公衆電話コーナー、1病棟デイルーム、2・3病棟ナースステーション
西棟：AOC前、5病棟デイルーム、6・7病棟ナースステーション



●当院では診療録の開示、提供を行っています。ご希望の方は開示の方法など職員にお尋ね下さい。

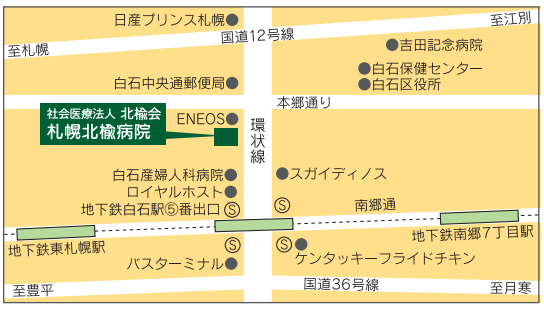
編集後記

早いもので年が明けて2か月が経過しました。先日、生まれて初めてインフルエンザに罹患してしまいました。今号のトピックスでも載せましたが、インフルエンザ・ノロウイルスが非常に流行しています。皆さんも手洗い・うがいなどを徹底し、体調管理に十分気を付けましょう。　（I・J）

社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院

診療科目
外科・肛門外科・腎臓移植外科・泌尿器科・内科・血液内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病代謝内科・循環器内科・小児思春期科・整形外科・麻酔科・放射線科・歯科

住　所
札幌市白石区東札幌６条６丁目５番１号
TEL：(011)865−0111　FAX：(011)865−9634

交　通
地下鉄白石駅５番出口から環状通り　北の方へ徒歩５分左手

ホームページ
http://www.hokuyu-aoth.org/